

町長所信表明

令和7年第3回定例会で後藤正洋町長が所信を表明しました
2期目の任期に向け、これまでの取り組みを踏まえたうえで、
今後のまちづくりの方向性を示しました。



町民の皆様、町議会議員の皆様から力強いご支援、ご厚情を賜り、引き続き、2期目の町政運営を担わせていただくこととなりました。

社会・経済情勢が目まぐるしく変化し、将来の予測が困難な時代の中で、私に課せられた使命と責任の重さに、改めて身の引き締まる思いであるとともに、当別町の未来を築く決意を新たにしているところです。

私の1期目の4年間で振り返りますと、アフターコロナを見据え、基幹産業である農業を守り、医療や福祉、除排雪の仕組みを改善するなど、町民の皆様が安心して快適に暮らせるよう、町政運営に全力を注ぎました。

特に「4つのファースト」を掲げて政策を推進し、住宅購入に対する支援金、新たな医療機関の誘致、DX化の推進、子ども医療費の対象年齢の拡充、西当別市街地への雪堆積場の設置、とうべつ学園の開校、公園の大規模改修、西当別支所の開設など、喫緊に直面する課題への対応と、未来に種をまく各種施策に取り組んできました。

2期目におきましても、1期目に着実に積み重ねてきた取り組みをベースとして、引き続き課題解決に当たるとともに「子育て世代でにぎわう 安心して暮らせる町」を目指し、当別町を応援して下さるすべての方々と共に「成長できるまち」の実現に向けて、挑戦を続けます。

今後の4年間の町政運営における基本的な考え方を、「8つの目標」に沿ってご説明します。

8つの目標



大学移転の影響を最小限に

町ではすでに、転入者向けの引越応援事業や空き店舗の活用促進などを実施し、一定の成果を上げています。今後は、大学移転による人口減少や経済停滞を防ぐため、「交流人口」を「関係人口」へ、そして「定住人口」へとつなげる取り組みを強化。町で挑戦したいと思える機会を創出し、「成長できるまち」の実現を目指します。



子育て世代に選ばれる町へ

「子育てしやすい町」として選ばれるために、子育て・教育環境を一層充実させます。小中一貫教育や ICT 教育の継続に加え、妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援を提供。「とうべつこども HIRARI 計画」に基づき、「親子が室内で楽しめる場所づくり」などにより、すべての子どもが未来を拓き、幸せを感じて暮らせる町を目指します。



物価高と時代の変化に対応した行政サービス

物価高騰が続く中、国に支援を求めながら、北海道、町村会と連携し、必要な対策を進めます。

また、行政サービスのデジタル化を推進します。オンライン手続きの拡充や SNS による情報発信など、場所や時間を問わず行政サービスを受けられる環境を整備し、高齢化する地域社会の活性化に資する施策を探索します。



観光による交流人口を力に

ロイズタウン駅の開業やロイズカカオ&チョコレートタウンのグランドオープン、「道の駅とうべつ」の来場者数 100 万人突破など、当別町の交流人口は大きく増加しています。今後は観光協会との連携を強化し、新たな観光コンテンツの造成や周遊バスツアーの誘致を進めるとともに、ふるさと納税を通じて「関係人口」の確実な定着を図ります。



農業を守り 稼ぐ産業を育成

「第 2 期農業 10 年ビジョン」に基づき、スマート農業や DX 化を推進し、農業者の所得向上と生産性向上を図るとともに、6 次産業化によって当別ならではの付加価値を創出。さらに、企業誘致や起業促進、地域資源の循環システム構築、ゼロカーボンの推進などにより、循環型の地域社会づくりを目指します。



人生 100 年時代の福祉

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療・福祉の体制を強化します。新たに誘致した医療機関を活用し、在宅医療や検査体制の充実を図るほか、フレイル予防や健診受診率の向上にも取り組みます。地域包括ケアシステムを基盤に、福祉 DX を推進し、人生 100 年時代に対応した、誰もが利用しやすい福祉サービスの提供を目指します。



災害拠点としての庁舎建設

町民の命と暮らしを守るため、新庁舎建設検討委員会からの提言に基づき、災害対応拠点としての新庁舎建設を検討します。公民館用地への移転新築を第 1 候補とし、災害対応力の強化、職員の労働環境改善、建設費の高騰などを総合的に見極めながら、1 年以内の計画具体化を目指します。



世代をつなぐ地域づくり

高齢化が進む地域において、若者や子育て世代が定住できる環境整備が必要です。住宅購入支援金や医療費助成などの支援を継続し、若い世代が地域活動に関心を持ち、主体的に参加できる仕組みを構築。イベントや SNS を活用した情報発信を通じて、多世代の交流を促進し、地域の活力を取り戻します。